



起立採決の様子

会派等構成員一覧

新 緑 風 会	◎山口 善之	大杉 吉包	河尻 浩一	曾我 正彦	加藤 公友	松葉谷光由
自由民主党鈴鹿市議団	◎宮木 健	野間 芳実	森 喜代造	森 雅之	太田 龍三	桐生 常朗
市 民 の 声	◎中西 大輔	藪田 啓介	市川 昇	田中 淳一	藤井 栄治	
れ い め い	◎南条 雄士	市川 哲夫	水谷 進	田中 通		
公 明 党	◎池上 茂樹	藤浪 清司	船間 涼子			
諸派(日本共産党)	◎石田 秀三	高橋さつき				
無 所 属	矢田真佐美					
無 所 属	山中 智博(議長)					

◎: 会派等代表者

採決時の会派等構成員一覧です。

代表質問 (要旨)

代表質問は、市長の新年度施政方針に対し、会派を代表して各1人が質問するものです。

令和6年2月定例議会では、市長から令和6年度の施政方針が述べられ、その内容について5会派から代表質問を行いました。

自由民主党
鈴鹿市議団

宮木 健 議員

令和6年度施政方針について

(質問)「子どもが輝き 人と文化を育むまち」について、①本市は、妊娠期から18歳までの全ての子どもや世帯に対し、切れ目なく継続的な支援を行うとあるが、4月に新設される「こども家庭センター」は、どのように機能させるのか。②電子化される母子健康手帳は、どのように扱うのか。

(答弁) ①母子保健と児童福祉を集約し、体制強化を図る。新たにセンター長と統括支援員を配置し、専門職員を増員して拡充する。相談に訪れる方の利便性も考慮し、令和7年度以降の場所の統合を視野に入れて進める。②従来の母子健康手帳も併用しつつ、令和6年度から母子健康手帳アプリを導入し、妊娠・出産・子育てに関するプッシュ型の情報提供を行う。市独自のプログラム「すずっこファイル」などのデジタル化についても、国の政策動向などを踏まえて検討していく。

